

# 新型コロナウイルス禍

## 様々な制度があるけれど… 実際自分に合うのはどの制度？



**個人** **生活支援**

- 休業・失業で家計が維持できない
- 離職等で住宅を失った・失うかも
- 国民全員給付可能

**事業主** **休業補償**

- 従業員に休業してもらうなら
- 子供がいる方のための補償

**事業主** **資金繰り**

- 資金繰りのため融資を受けたい
- コロナで売上が半減した

### 保険料免除や納税猶予

**国民年金保険料**(足立区役所年金係:03-3880-5843)  
今年2月以降の任意の期間(一ヶ月以上)の収入が前年よりおおむね2割以上減り、税金の納付が困難な場合、徴収を1年間猶予。

**国税・地方税**(足立区役所納税課:03-3880-5236)  
今年2月以降の任意の期間(一ヶ月以上)の収入が前年よりおおむね2割以上減り、税金の納付が困難な場合、徴収を1年間猶予。

**国民健康保険料**(足立区役所資格課:03-3880-5240)  
主に生計を支える人がコロナで死亡したり重篤になったりした場合や、収入が3割以上落ち込むなどした場合、保険料の全部または一部を免除。

**公共料金**(契約している事業者)  
水道や電気、ガス、携帯電話の料金、生命保険や損害保険の保険料など、各事業者が定める範囲で支払いを猶予。

**融資** **緊急生活応援ローン**  
貸付上限:100万円 金利:年1.5%  
据置期間:2年以内 返済期間:10年以内

**融資** **足立区緊急小口資金(特例)**  
無利子・無担保  
貸付上限20万円 返済期間:2年以内  
据置期間:1年以内

**融資** **足立区総合支援資金(特例)**  
無利子・無担保  
貸付上限:単身15万円、複数20万円  
据置期間:1年以内 返済期間:10年以内

**給付** **住宅確保給付金**  
家賃実費支給:4万円~6万2千円  
支給期間:原則3ヶ月

**給付** **特別定額給付金**  
給付額:1人10万円(5人なら50万円)  
足立区は8月31日までの申請が必須  
4月27日時点で日本に住み票があれば必ず給付

**助成** **雇用調整助成金(コロナ特例)**  
社労士の代行費用10万円まで足立区が助成  
休業等助成1人1日15000円まで  
助成率は企業規模・雇用状況で変動

**助成** **小学校休業等対応助成金**  
小学校休校で有給休暇取得や休業した場合  
給付上限:従業員8330円/個人4100円

**融資** **新型コロナウイルス対策資金**  
朝日、東京東、城北、足立成和信用金庫で5年間無利子  
貸付上限:1000万円 利子補給:5年  
利率・返済期間等:各金融機関による

**融資** **新型コロナウイルス感染症特別貸付**  
無利子・無担保  
貸付上限:6000万円 返済期間:20年以内  
3000万円までは実質無利子(3年間)

ろうきん千住支店  
03-3882-3121

社会福祉法人  
足立区社会福祉協議会  
03-3880-5740

足立区給付金ダイヤル  
03-3880-6155

ハローワーク足立  
03-3870-8609

学校等休業相談センター  
0120-60-3999

足立区役所相談・融資係  
03-3880-5486

日本政策金融公庫  
0120-154-505

**給付** **持続化給付金**  
**職人の皆さんはほぼ給付可能!**

申請対象:売上が昨年同月比で半分以下

給付額(最大):法人...200万円/個人...100万円

申請方法:PCやスマホでのインターネット申請

必要なもの: 確定申告書の控え 身分証明書類  
月の売上台帳等 振込先の口座  
法人事業概況説明書(法人のみ)

**返済不要!**

持続化給付金事業コールセンター:0120-115-570



20代組員(左)/支部窓口にて申請相談をする様子

**30分のスマホ操作で申請完了**

「20代組員」コロナ禍で4月から仕事が薄くなり、5月には仕事量がゼロになりました。家族もいまして、非常に焦り、何か無い事がないかと、詳細が難しく書いてあり、自分が対象となり、申請したいところを探して、持続化給付金という制度を見つけた。しかし、申請方法や、申請書類の書き方など、分からないところが多かった。税理士に相談するも、詳細は知らず、要する書類が揃っていませんでした。すると、詳しく丁寧に説明をしてくださる方がいらっしゃいました。説明を聞いて、早速申請してみようと思った。30分程度で申請は完了しました。この時期の100万円はとても助かります。今では仲間にもオススメしています。友人はお問い合わせセンターに連絡しても繋がらなかったようで、自分も東京土建足立支部に所属している良かったなど、心の底から思いました。